

- 全国路地サミット in KOBE (P.1)
- 神戸・まち歩きツアー／まちなみ緑花コンクール (P.2)
- 山麓リボンの道を行く その11 (P.3)
- 発信！まちセン研究ネット⑥ (P4) ほか

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

全国路地サミット in KOBE 開催

～みんなで考える「これからの路地を生きかしたまちづくり」～



さる10月24日、長田区の旧二葉小学校で、「全国路地サミット in KOBE」のフォーラムが開催されました。24・25両日の午前には、長田南部、南京町～乙仲通、北野町～山本通、駒ヶ林、塩屋～東垂水でまち歩きツアーもあわせて行われました。

サミットは、安全・安心で美しい路地空間とコミュニティのあり方、路地空間の活用・保存・再生などをテーマに、2003年以来、全国各地で開催され、今回で7回目となります。

安田丑作実行委員長の「表通りよりも裏通りの方が面白い。路地の街は、居酒屋的な雰囲気があり、現場主義的まちづくりの場でもある。五感で街を捉える必要がある。震災復興した街の姿と路地を対比し、街の実相と街が抱える課題を考えることも有意義であろう」との挨拶で開会し、前回の長野サミットの報告、第1回関西路地サミットの報告がありました。

基調講演「路地を活かしたまちづくりの現在」



木村晃郁氏(全国路地のまち連絡協議会)から、「壊れつつある風情豊かな路地をアピールしよう」との呼びかけがあり、路地百

選・路地スター・連続路地シンポ・NPO粋なまちづくり倶楽部の活動などの同協議会の取り組み、東京・大阪・埼玉・青森・長野・愛知・長崎・新潟などでの市民の取り組み、路地を残すための法的取り組みなどが紹介されました。

全国路地のまち活動報告

○法善寺横丁地区(大阪市)

「元の道幅を保って復興を果たした経験から」と題して、山本英夫氏(まちづくりコーディネーター)から、平成14年9月の火事で全焼した法善寺横丁で、商業地特例として連担制度を取り入れた復興についての報告がありました。

○神楽坂地区(東京都新宿区)

福井清一郎氏(神楽坂通り商店会会長)から、「神楽坂の路地文化」について、阿波踊りや坂にロール紙を敷き詰めたお絵かきイベントなどの報告がありました。

○駒ヶ林地区(神戸市)

松原永季氏(スタチオ・カタリスト)から、「漁村集落の路地を活かした近隣住環境計画」の取り組みについて、スポット創成事業を利用した空き地の公園化、法42条2項・同条3項・同条但し書き、壁面線の指定等の法の弾力的運用などの報告がありました。

○東垂水地区(神戸市)

田中正人氏(都市調査計画事務所)から、「幹線道路も区画道路もないまちの路地をどう生かすか?」と題し、地元住民による段階的防災まちづくり、行き止まり路地まちなか防災空地整備事業などの取り組みが報告されました。

その後、ポスターセッション“みんなで考える「路地を活かしたまちづくり手法」”が行われました。「商業中心型」「商業生活複合型」「生活中心平坦型」「生活中心斜面地型」に分かれて、議論を深め、「これらの路地まちづくりは各地の固有事例かもしれないが、それを一般化していける方策を考えることが大切である」との締めくくりとなりました。



武田則明(いきいき下町推進協議会)

三都連携イベント 神戸・まち歩きツアー開催 ～水という視点からの住まい・まちめぐり～

木々もようやく色づき始めた10月最後の日曜日の31日、神戸・大阪・京都の連携イベント「神戸・まちあるきツアー」（すまいるネット・まちづくり会館主催）が行われました。これは、生田川の源流である布引の滝から、その河口にあるHAT神戸までを歩き「水」と「住まい」をめぐるものです。

参加者は新神戸ロープウェイ夢風船の「風の丘」駅に集合し、好天气に恵まれた中、まち歩き（山歩き？）に出発。最初からこのコースの最大の難所である急なつづら折りの階段遊歩道を、参加者は何の問題もなく軽快に降り、「布引水源地水道施設」「雄滝」「雌滝取水堰堤」等を見学した後、一気に新神戸まで下山。天津市から贈られた「連翼亭」と「神戸芸術センター」の高級レジデンスを見学した後、生田川を南下。道中、分譲マンションの耐震補強工事や賀川豊彦生誕100年記念碑の解説を受けながら、生田川の河口へ。明治40年に造られた下水道と神戸臨港鉄道施設の一部移設保存の解説を受け、ハーバーウォークを東へ向かい、歩き始めて3時間半。約300mに及ぶ高低差を克服して、ようやくゴール地点に。最後にクイズの答え合わせをして、ツアーは無事終了しました！



第11回神戸まちなみ緑花コンクール入賞作品決定！

毎年、個性的で美しいまちなみの創造にむけて日頃から頑張っておられる個人や団体を表彰している「神戸まちなみ緑花コンクール」。

このたび、住宅緑花部門（個人）107点、まちなみ緑花部門（店舗・団体）59点、計166点の応募の中から「第11回神戸まちなみ緑花コンクール」の入賞作品が決定し、10月4日神戸総合運動公園で行われた「緑と公園のつどい」で、神戸まちなみ緑花大賞をはじめ、こうべまちづくりセンター賞など入賞作品の表彰が行われました。

毎回応募される常連の方々も増えて、管理方法やデザインに創意工夫を凝らした個性豊かな作品が年々増えています。

※詳しくは「花と緑のまち推進センター」のサイトで

http://www.kobe-park.or.jp/hanamidori/event/07_machinamin.html



神戸市長賞
(まちなみ緑花部門)
灘区「IDA HOMES」

神戸市長賞
(住宅緑花部門)
東灘区「末松邸」



こうべまちづくりセンター賞
(まちなみ緑花部門)
中央区
「ワコーレ・ザ・アロードレジデンス」

こうべまちづくりセンター賞
(住宅緑花部門)
東灘区「宮内邸」



神戸まちなみ緑花大賞
垂水区「美容室メルローズ」



「山麓リボンの道」を行くーその 11:本山のみち

森崎輝行（いきいき下町推進協議会）

今回は、山麓リボンの道の東端、「甲南山手駅」からのスタートです。

この駅は、1996(平成8)年10月1日に開業した比較的新しい駅です。利用客(乗車人員)は約1万人(2007年)ですが、近くには多くの学校があるため、若い世代の利用が多いとのこと。この駅の南側に、2006(平成18)年3月26日、住民の憩いの広場「和ひろば」がオープンしました。この広場には災害に備えてさまざまな施設が備えてあり、夜には発光ダイオードも点灯します。北に進路をとり、山麓リボンの道のスタートです。

阪急神戸線をくぐり、急な坂を登ると「森の稲荷神社」の入口に出ます。木で造られた鳥居をくぐり、30数段の階段を登ると正面に拝殿が見えてきます。さらにその奥には本殿が垣間見えます。この本殿の右側には「市民の木」に指定されている大きなアカマツの木があります。御祭神は、宇迦之御魂大神《うかのみたまのおおかみ》で、稲(穀物)の魂そのものが神格化した神様です。その神様は女神だったり男神だったり翁神だったりします。きっと見る人に受け入れやすい姿に合わせたのでしょう。

市民の木(あかまつ)



ネット検索(グーグル)『豆知識/稲荷について』によりますと「森の稲荷神社」の「お稲荷さん」は「稲荷大神」とか「稲荷大明神」とか言われ、元々は渡来人の家系である「秦氏」の氏神であったそうです。そのため一神(柱ともいう)と思われがちですが、一部の神社を除いて複数神鎮座しているのが普通です。その代表となる神様が「宇迦御魂大神」なのです(「豊受大神《とようけおおかみ》」も多い)。「ウケ」「ウカ」は「食物」の古代語で、そこから人間の生命活動(衣食住)をつかさどる神様の呼称が生まれました。

氏子の「秦氏」は絹の生産で繁栄したので、稲荷は工業・生産・商売繁盛をつかさどる神様となりました。ですから、御神徳は商売繁盛・無病息災・五穀豊穰といわれています。

山麓リボンの道は西へ向かいます。しばらく行くと「中野八幡神社」にでます。八幡神は宇佐八幡宮の社伝『八幡宇佐宮御託宣集』で、欽明天皇32(571)年1月1日に「誉田天皇広幡八幡麿」(誉田天皇は応神天皇の国風諡号)と称して八幡神が表れたとしており、

ここから八幡神は応神天皇であるということになっています。

この神社の名に出てくる「八幡」は先程の「稲荷」と、その数を競っています。日本にある稲荷神社は2万社とも3万社とも言われているのに対し、八幡神社は1万社とも2万社とも言われ、稲荷神社に次いで全国2位とのことですが、祭神で全国の神社を分類すれば、八幡信仰に分類される神社は、全国1位(7817社)だという研究者(岡田荘司/国学院大学文学部教授)もいます。

1 kmほど西に進むと、天上川にでます。川を渡って少し行くと岡本公園です。ここにある梅林は、昔から「梅は岡本、桜は吉野、みかん紀の国、栗丹波」と唄われるほど日本でも数の梅の名所と言われていました。しかし、1938(昭和13)年の阪神大水害により岡本周辺の山が崩れ、梅林の大半が失われてしまい、残った梅の木も神戸大空襲で焼失し、岡本梅林の名声もすっかり失われてしまいました。

岡本公園(梅林)



現在の梅林は、神戸市と地元市民により昭和40～50年代にかけて岡本梅林の一部を復活整備したものです。梅林が消失してからは周辺の宅地造成が進み、かつて名を知らしめた岡本梅林の規模には遠く及ばなくなっています。

天上川は二級河川です。阪急神戸線(阪急岡本駅付近)に達する手前で、右岸の「背谷川」と、大谷川・中谷川の合流した「西天上川」が合流します。そして、以前、下流には1kmにも渡る、条里制に従って人工的に東西に流れを変えられたとみられる横川がありましたが、高く堆積した土砂による自然堤防が交通の障害となり、付近は常に氾濫の危険をはらんでいたため、被害を避ける目的で、昭和2年(1927年)、天上川は大谷川に接続されて横川は廃川となりました。

岡本公園を後に、さらに西に進みます。甲南大学の北側のこの道は西天井川沿いにあり、この川に架かる家々の小さな通路(橋)が、以前から川との関わりが深かったことを今も伝えていきます。

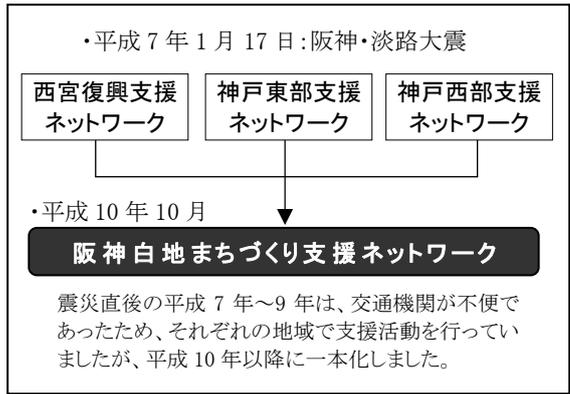


(建築家)

発信！！まちセン研究ネット⑥ 阪神白地まちづくり支援ネットワーク

本会は、阪神・淡路大震災の復興まちづくりを契機に生まれた、手弁当派のまちづくりコンサルタント・行政プランナー・大学研究者等の情報交流会です。平成7年の誕生で今日まで約15年続いている長寿ネットワークであり、阪神・淡路大震災の良き遺産としてこれからも継続して行く予定です。現在、会員メンバーは約100名で2ヶ月に1回、年6回定期的に阪神間の都市と建築とまちづくり等に関する勉強会・情報交換会を行っています。東京や大阪のような大都市地域でも、また地方都市でも成立しない阪神間ならではのネットワークであり、通常は姫路市から川西市あたりまでのメンバーを対象に神戸市三宮で会場を設定しています。

なお、会の名称の阪神白地まちづくりの「白地」は、震災復興まちづくりにおける重点事業地区以外の自主的復興に取り組まれた地区への支援を行ったことから付けられたものであり、行政主導に対する民間主導を意味しています。



阪神白地まちづくり支援ネットワーク組織図



情報交流会（報告会）の風景

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

期間	テーマ・内容	主催者
12月	(～12日) 市民花壇コンクール入賞作品展	神戸市公園緑化協会
	(15日～) 悪質商法・生活情報センターパネル展/下水道の適正利用・こうペバイオガス	神戸市市民参画推進局/建設局
1月	空から見た震災復興写真展	都市計画総局地域支援室
2月	(～12日) ユニバーサルデザイン展	神戸市保健福祉局
	(15日～) 北区フォトコンテスト入賞作品展	北区役所

※展示期間が変更になる場合があります。

地階ギャラリーの予定

期間	テーマ・内容	主催者
11月26日(木)～12月1日(火)	神戸写遊会 写真展	神戸写遊会
12月4日(金)～12月8日(火)	「キルト♡マインド」パッチワークキルト作品展	宮本純子
12月10日(木)～12月15日(火)	彩風会 スケッチ展<水彩>	彩風会
12月17日(木)～12月22日(火)	第3回川崎重エグループ絵画展<油彩水彩等>	川重絵画同好会
1月7日(木)～1月12日(火)	神戸大学写真部 部展	神戸大学写真部
1月15日(金)～1月19日(火)	第21回 公募写真展	(財)兵庫労働者福祉基金協会
1月22日(金)～1月26日(火)	ドキドキ展<油彩水彩等>	もとまちハートミュージアム2010
1月28日(木)～2月2日(火)	シルバーカレッジ11・12期絵画展<油彩水彩等>	シルバーカレッジ11・12期絵画同好会

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



こうべまちづくり会館

開館時間：午前10時～午後6時（毎水曜日休館）
 場所：元町商店街4丁目西端の南側角
 地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分
 神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分
 「西元町」東口から東へ5分
 JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分
 〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14
 電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546
 ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談
 受付：午前10時～午後6時（水曜日休館）
 ただし、印刷は5時まで
 電話・FAX：078-361-4565